

2014年

9月19日 金

会場：参議院議員会館・講堂

沖縄返還 当事者が見る今

～47年ぶりの訪沖を振り返って

17:15-18:45

主催 新外交イニシアティブ(ND)

[同日同場所開催イベント(ハルペリン氏講演)]

シンポジウム

秘密保護法と 国民の知る権利

(オープン・ガバメント)

15:30-17:00 (15:00開場)

主催 日本弁護士連合会



モートン・
ハルペリン氏

多くの沖縄県民の反対の中、辺野古にて調査が開始され、基地移設が進められようとしています。1972年の沖縄返還時、沖縄の基地負担の軽減が期待されましたが、現在まで沖縄は過重な基地負担を負っています。

この度、NDの招聘により、米歴代政権で安全保障政策に関わり、沖縄返還で米側交渉官を務めたハルペリン氏が沖縄を訪問します。

シンポジウムでは、返還以来47年ぶりの訪沖の感想や、沖縄の基地負担についての想いなどを、米安全保障戦略の変化等に照らしながらお話しいただきます。

※「沖縄返還当事者が見る今—47年ぶりの訪沖を振り返って」は「秘密保護法と国民の知る権利(オープン・ガバメント)」に続けて、同じ会場で行います。続けてご参加ください。

モートン・ハルペリン(Morton H. Halperin)
(元米国家安全保障会議(NSC)スタッフ)

1938年生まれ。1966年から69年にかけて、米国防総省の上級担当官として沖縄返還交渉に関わり、米国側の方針をまとめ、日本側と交渉にあたる。その後も外交安全保障の専門家として、ニクソン政権時に国家安全保障会議メンバー、クリントン政権時に大統領特別補佐官などを歴任。在沖米軍基地に関して沖縄の負担は軽減すべきとし、普天間基地の辺野古移設に反対。また日本の特定秘密保護法についても、国際基準に則していないと繰り返し指摘し、沖縄の核密約についても国民には知る権利があると主張。

会場 参議院議員会館・講堂

住所：東京都千代田区永田町2-2-1 ※当日は混雑が予想されますので、開演30分前には会場にお越しください。

資料代 無料 **言語** 日英(通訳付き)

お申込 当日参加も受け付けますが、できる限り、事前申込みをお願いいたします。
お名前・ご所属・ご住所・電話番号を、E-mailでinfo@nd-initiative.orgまでお送りください。

共催 琉球新報社

お問合せ 新外交イニシアティブ(ND)事務局

東京都新宿区新宿 1-15-9 さわだビル 5階 TEL:03-3948-7255
E-mail: info@nd-initiative.org Facebook: www.facebook.com/NewDiplomacyInitiative Twitter: @nd_initiative

コーディネーター



猿田 佐世
ND事務局長、弁護士